

2013.11.19

「デフレ調査会に青木泰樹先生登場のお知らせ」

こんにちは、参議院議員の西田昌司です。本日は11月19日火曜日です。明日の20日水曜日13時から参議院のデフレ対策と財政再建に関する調査会(デフレ調査会)が行われまして、参考人から様々な意見を聞かせて頂こうと。ということで、自民党からは帝京大学の青木泰樹先生をお招きします。今回の調査会は、現在、参議院も終盤戦となり、様々な委員会が重なってきております。私はこの委員会の筆頭理事をしていますのと同時に、NSCの特別委員会の理事も務めておりますし、同じ時間に総理入りの質問もありますが、筆頭理事が席を外すわけにはいきませんので、私はデフレ調査会の方に出席することになっており、終了次第、NSCの委員会に向かうことになっています。

今回のデフレ調査会は参議院の改選に伴い、新たに出来た調査会ですが、まさに今、アベノミクスということで3本の矢である大胆な金融緩和、機動的な財政出動、民間主導の成長戦略を私共は元々、下野していた時代から安倍総理と共に、どうすればデフレから脱却できるのか、逆に言えば、何がデフレを作ったのかということ、様々な形の勉強会をしてきました。そして、その時に、安倍総理にレクチャーしていた一人が、青木泰樹先生であります。残念ながら、青木先生はマスコミ等に取り上げられることは少ないですが、私も青木先生のことを藤井先生や中野先生からご紹介して頂き、その著書な

どを拝読しました。本当に青木先生のような経済学者が世に出て発言をして頂き、現在に蔓延する新自由的な経済政策の誤りを、青木先生のようなしつかりとしたケインジアンの方にお話をして頂かないと、マスコミを通じて、国民が誤った政策を信じてしまうのです。そして、国民が誤ると政治家も誤った政治を行ってしまうわけです。このようなことを非常に強く思った訳です。これを含めまして、安倍総理にも青木先生をご紹介させて頂きまして、お話をさせて頂きましたが、我々の思いが安倍内閣で実行されているかといえ、そうではないのが現状であります。我々も今回、内閣・政府は諮問委員会の委員を通じて、新自由主義的な発想の政策提言をされていることありますが、少なくとも、我々参議院においては、そのような政策は断じて許さないという姿勢であります。そのような法案が通ってきた場合は、きちんと議論して誤りを正していかなければならないという思いでいるわけであり、その一つの象徴がこのデフレ調査会でありまして、各党・各会派が推薦する様々な先生方のお話を聞かせて頂き、このデフレ調査会を何度も行っていき、議論を重ねていくことで事実が見えてきます。その中で参議院の意見を集約していこうというように思いから、今回のデフレ調査会は立ち上がった訳です。残念ながら、先程言いましたようにNSCと重なってしまいますので、委員の移動も時間内で出入りを行い、少数会派の委員の方々には、ご迷惑お掛けすることになりますが、それでも今回初めてこういう調査会を

行いますので、有意義なものにしていきたいと思います。この様子はインターネットでもご覧頂けますし、また、私もこのビデオレターで、明日の委員会の調査会が終わりましたら、投稿する予定でありますので、ぜひご覧きたいと思います。また同時に、実は私の週刊西田の西田ビジョンで一番最初に議論させて頂いたのは、青木先生であったと思います。様々な方々に青木先生の仰っていることを聞いて頂き、国民の世論をしっかりとしたものにしていきたいと思います。現在、アメリカのスティグリッツ博士やクルーグマン博士等も「今までの財政を緩和していけば、世の中が良くなるんだ。」という方法から、「財政出動でデフレ脱却する方法が一番良い提案である」と仰っています。その政策をより分かりやすく解説をしているのが、私の週刊西田の西田ビジョンです。ぜひ、明日の調査会の議論と一緒にご覧に頂き、私も筆頭理事と致しまして、青木先生に質問させて頂きたいと予定ですので、ぜひご覧いただきたいと思います。

本日もご覧になって頂き、ありがとうございました。